

# 在学届の記入上の注意点と記入例

[様式 21]

データ種別				在 学 届				在学期間短縮の場合は☑してください。 <input type="checkbox"/> 在学期間短縮	
1	3	1	6	フリガナ	イクエイ	ハナコ			
奨 学 生 番 号				氏 名		育 英		花 子	
記 号				生年月日		19 94 年 4 月 7 日 生			
5	8	1	2	0	4	9	9	9	
				連絡先電話番号		03 - 3269 - ××××			
姓 (カタカナ)				現在の入学年月		現在の卒業予定期			
イ ク エ イ				西暦年 月		西暦年 月 在学年数			
				1 6 0 4		1 8 3 2			
借用終了時の学校名				学生支援大学					
借用終了年月・事由				2016年3月分まで受領 (満期)・辞退・退学・廃止					
該当する場合のみ○で囲む →				留年・休学・在籍中の留学・通信教育・放送大学					
現在の学籍(学生証)番号				K07001					
学校名				大学		学部		学科	学年
				学生支援		大学院		理工学	1 学年
専修学校名				学校		高等課程		分野	学年
				(TEL		)		専門課程	学科
高等専門学校・高等学校名				学校		高等課程		分野	学年
上記のとおり在学している(いた)ことを証明します。				2016年4月××日		電話番号(担当者名)		(学費) 03 - 3269 - ××××	
学校長名				機 構 学		学校番号		区分	
大学長名				(関係部課長)		3 0 1 9 9 9 0 0		0 0	

「在学届」記入上の注意1. 参照

「在学届」記入上の注意3. 参照

「在学届」記入上の注意4. 5 参照

「在学届」記入上の注意2. 参照

該当するものを○で囲

▲学年

## 「在学届」記入上の注意

- 奨学生番号は、奨学金の借用が終了しているもののうち採用年度の「新しい番号」を記入すること。
- 借用終了時の学校名は、借用が終了したもののうち最後に貸与された学校名を記入すること。
- 姓は左につめてカタカナで記入し、ダク点、半ダク点は、1コマ使用すること。  
(姓の6コマ以上、及び名は書かなくてよい。)

(例) 円城寺和子	(例) 青木昭子
姓(カタカナ)	姓(カタカナ)
エ ン シ ヨ	ア オ キ

- 卒業予定期は、現在在学中の学校の正規の最短修業期の年を西暦の下2桁(平成の年+88)で記入すること。  
なお、休学などで正規の最短修業期を超えたときは、その卒業予定期を記入して提出すること。  
また、卒業予定月が3月ではない場合は、3と記載のあるところに二本線を引き、上部余白に正しい月を記入すること。(訂正印不要)
- 在学年数は、次の(1)~(4)のいずれかの年数を記入すること。
  - 1年次入学(学士入学を含む)のときは、そのときから正規の最短修業期までの年数
  - 休学、その他の事由で卒業が延期となったときは、その延びる年数
  - 辞退、廃止などにより在学期間中に借用が終了したときは、そのときから卒業するまでの年数
  - 留年した者及び大学の通信教育部又は放送大学の全科履修生として在学する者は「1」を記入し、毎年提出すること。
 ※在学期間が1ヶ月~11ヶ月の場合は、「1」と記入すること。
- 専修学校については、学校の電話番号(担当者名)及び修業年限も記入すること。
- 授業料未納による遡及除籍の場合は【連絡事項欄】に処分決定日を記入すること。

## ●学校の担当者の方へお願い

- 「学校名」・「専修学校名」・「高等専門学校・高等学校名」はスカラACの「学校情報の確認」画面で表示される学校名称を記入してください。
- 学年(上の表★)と在学年数(▲)が合わない場合、本機構では学年を基準にして在学期間を判断します。このため、留年中も学年が進行する場合、大学4年制学部で学年が「4学年」で、在学年数が2年として記入されていても、通常本機構では在学年数を1年と判断します。このように学年と在学年数が合わない場合は、余白に学年と在学年数との関係について必ず説明書きをお願いします。
- 在学猶予の承認期間中に、退学等のために在学期間に変更が生じた場合は、届出が必要です。  
届出方法は「奨学事務の手引」第9-9を参照してください。  
在学期間短縮の場合は、連絡事項欄に退学等の学籍日を記入してください。